

のりくらSDGsチャレンジ

1 特色化事業の概要・目的

- 概要** 「飛騨高山SDGsパートナー」登録施設として、これまでに提供していた様々な自然体験活動にSDGsの観点を盛り込みプログラム化した。主にSDGsの目標14と15に関する体験活動を行っている。
キーワードは「水」。森の豊かさを守ることが海の豊かさを守ることにもつながっていることを理解できるようにしている。
- 目的** 国立乗鞍青少年交流の家の周辺の森林において、様々な体験活動を通して、森林資源の素晴らしさや大切さに気づき、森林資源を守っていかうとする態度の育成と持続可能な学びを目指し、学校や家庭に帰ってからの実社会や実生活につなげていく。
- 対象** 小学生以上


2 活動内容

のりくらSDGsチャレンジの7つのプログラムは、SDGsの目標のうち、14「海の豊かさを守ろう」と15「陸の豊かさを守ろう」について学べるような体験活動を実施している。

体験者が、森林資源が豊かであると、その場所を水源としている地下水や川がきれいになって海まで流れ込んでいくことを想像すると、山と海がつながっていることに気づくことができる。また、源流(分水嶺や水源地)の存在を知ること、飛騨高山は海に面していない地域ではあるが、森林資源を守ることと海を守ることのつながりを学習する。この体験を通した学びによって、SDGsに対して興味・関心を高め、実践意欲をもてるようにしている。


活動プログラム	目的
ツリーイング	ミズナラの大木にロープを使った木登り体験を通して、自然の雄大さや森の豊かさ、森が川の水源としての役割をもっていることを実感する。
マイエコバッグ作り	クレヨンを使い、落ち葉の葉脈を綿バッグに写し出すエコバッグ作りを通して、マイクロプラスチックを削減することが森を守り、海の豊かさを守ることにつながっていることを理解する。
アロママグネット	飛騨高山の「枝の端材」と「木のエッセンシャルオイル」を利用したクラフト活動を通して、豊かな森林の香りを実感する。
源流ハイキング	太平洋・日本海側双方の源流となる水源地の分水嶺を歩くことを通して、水のはじまりに触れ、海から遠く離れた地で大海や森の豊かさを実感する。
のりくらSDGsクイズ(館内オリエンテーリング)	17のSDGsにまつわるクイズを通して、世界が抱える問題を理解する。
のりくらアドベンチャープログラム	集団の中で互いに関わる体験活動プログラムを通して、SDGs達成のために必要な「信頼」「気づく力」「協調性」を成長させ、集団の結束を深め(チームビルディング)、その後の学びの効果を高める。
SDGsカードゲーム「moritomirai(モリトミライ)」	カードゲームを通して、森林を持続的に活用するためにはどのような行動が必要なのかを10種類のまちの住人となり体験する。疑似的な森林環境学習を行うことで、実社会・実生活における環境保全に対する意識の向上を図り、生きる力を育成する。さらに課題解決の方法を仲間とともに楽しく、真剣に考えることで、総合的な学習(探究)の時間の学習素材として有効に活用し、コミュニケーション能力を高める。


3 活動プログラムのポイント



【ツリーイング】


ミズナラの大木にロープを使って登る体験を行う。自分の力で登りきることで達成感を味わうとともに大樹とのふれあいを通して、自然の雄大さや生命力を感じとる。山の斜面を守ったり、地下水に溶けこむ養分を作ったりする樹木の役割を理解するプログラムである。






【マイエコバッグ作り】


綿バッグに葉の形を写し取る体験を行う。葉脈を見て、蒸散と水の循環を理解する。また、エコバッグを使うことでレジ袋の削減につながり、マイクロプラスチックや二酸化炭素の削減に役立つことも実感できるプログラムである。






【アロママグネット】


飛騨高山の豊かな木材が生み出す心地よい香りを体感する。家具の制作過程から生まれた端材がその香りをまとい、マグネットして生まれ変わり、当施設での思い出を香りと共に持ち帰る体験ができるプログラムである。






【源流ハイキング】


森を散策しながら地下水が湧き出る場所を探す体験を行う。当施設の近くには「分水嶺」があり、山にいながら海とのつながりを実感できる。水のはじまりに触れ、海から遠く離れた地で大海を感じることで「水の循環」について学ぶことができるプログラムである。






【のりくらSDGsクイズ(館内オリエンテーリング)】


SDGsの館内冒険。館内に散らばった17のSDGsにまつわるクイズに挑み、世界が抱える問題に気づくことができるプログラムである。





【のりくらアドベンチャープログラム】

自然の中で、SDGs達成のために必要不可欠な「信頼」「気づく力」「協調性」を成長させ、集団の結束を深め、その後の学びの効果を高めることができるプログラムである。

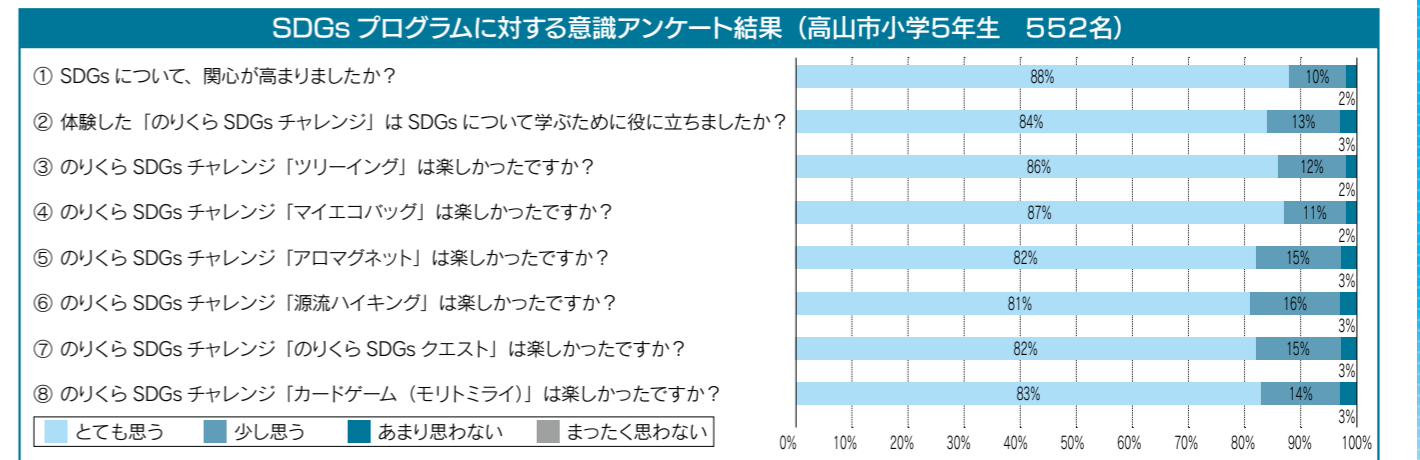


【SDGsカードゲーム「moritomirai(モリトミライ)」】

森林環境やまちの現状についてカードゲームを通して、楽しみながら学ぶことができる。課題解決の方法を仲間とともに楽しく、真剣に考えることができるため、総合的な学習(探究)の時間の学習素材として有効に活用できるプログラムである。



4 体験を通して感じたこと



- 7つのプログラムを通して、SDGsについて興味・関心をもったり、理解を深めたりすることができた。
- 体験活動の自体の楽しさによって、活動に意欲的に取り組むことができ、体験者が主体的に学習することができている。
- 体験を通した学びは、実感を伴った理解につながりやすい。
- 高山市総合政策部総合政策課総合計画策定室と連携し、「飛騨高山SDGs未来都市パートナー」に登録することができ、SDGs体験プログラムについて、利用団体への広報が進んだ。

5 乗鞍青少年交流の家 SDGsチャレンジについて

				
国立乗鞍 SDGsチャレンジ 体験活動編	国立乗鞍 SDGsチャレンジ moritomirai モリトミライ編	国立乗鞍 SDGsの取組	国立乗鞍 SDGsについて 体験を通して学ぶ	国立乗鞍 クラフト活動